

委員の皆様に、事前にご確認いただきたいこと

- ①. 年表の全体の体裁について
- ②. 「蝦夷」を「エソ」と表記することの可否について
- ③. 見え消し部分の要・不要について
- ④. 特に、昭和 53 年以降の出来事で、必要な項目・不要な項目について
- ⑤. 皇室に対する尊敬語について
- ⑥. その他、お気付きの点

※お送りした年表は確定版ではありません。下記を、ご参照ください。

1. 現在の年表の体裁

- ①. 「既刊市史分」（～昭和 52 年）と「新規分」（昭和 53 年～）に分けてまとめています。新規分は現段階では平成 27 年 5 月までを掲載しています。
- ②. 年表の記述は、体言止めを基本にしています。
- ③. 月日が不明なものは、今後の「覚え」として、「？」と記入しています。
初校以降、原稿執筆、また資料確認の段階で分かるものは、年表に掲載する予定です。
- ④. 毎年行われるイベントは初回のみ掲載し、以降は除きました。
- ⑤. 市長以外の助役（副市長）、教育長の任命は除きました。
- ⑥. 特に昭和 20 年までの出来事で、「既刊市史」の記述中、削除してはどうかと思われる部分を、見え消し（例：見え消し）にしています。なお、見え消し線部分の数字が消えていません（例：頂上に深さ約 100 ㍎）が、消したものとご判断ください。

「削除してはどうか」と判断する基準は下記のとおりです。

- ア. その出来事の具体的な説明や数値、本文に記載すればよい記述。
- イ. 農業が主産業であった終戦までの各年の作況を述べている記述。
- ウ. 漁太・漁・島松等の各村に分けた戸数・人口の記述。

2. 既刊市史分の年表（～昭和 52 年）

- ①. 明治元年までの記述は、はっきりと月日が確認できないものもあり、現段階では、「既刊市史」の記述のまま入れ込んでいます。
- ②. その年の戸数・人口は、別に一覧表を作成することから完全に削除しました。ただし、1－④－ウに記したとおり、漁太・漁・島松等の各村に分けた戸数・人口の記述は、見え消しのままです。

3. 新規分の年表について

- ①. 市制施行と姉妹都市以外は、各団体の周年行事を 50 年、100 年の掲載としました。50 年に満たない団体の記念行事が掲載されないという状況が出てくる場合や 100 年以上の場合は、最新の記念事業を掲載する予定です。
- ②. 東日本大震災の項目（平成 23 年以降）のように、一連の流れについて、本文で経緯を図表化するものなどについては、年表からはずしました。
- ③. 恵庭市と各団体・企業との防災協定締結は「防災と治安」の項で図表化が可能なことから、年表からはずしました。
ただし、都市間交流に係る防災協定締結については掲載しました。

4. 今後の作業（初校への移行）

- ①. 現段階では、表記や文章表現などの統一はまだ完全ではありません。項目掲載の基準がほぼ固まってから順次統一し、再校正等の作業で統一を図る予定です。
- ②. 編さん委員会では、年表に掲載する項目に関する基準やルールを説明させていただき、ご意見をいただいて大筋の方向を確認後、それに基づいて準備稿を調整し、初校年表を作成します。
- ③. 平成 27 年 5 月以降の出来事もルールにのっとり追加していきます。
- ④. 年表のページ数は、全体の 4 %（約 50 ページ）としていますが、現在でも 90 ページを越えています。実際に年表の雰囲気を見ていただき、項目についてのご意見をいただくことによって、年表に割くページ数を検討します。
- ⑤. まだ個々の原稿がまとまっていない段階ですので、不明箇所は再校正に向けて調査を行い解決し、また原稿がまとまっていく段階で、出来事の加除を行います。